

令和6年度第1回小金井市放課後子どもプラン運営委員会

日 時 令和6年4月26日（金）午前10時00分～

場 所 市役所第二庁舎8階 801会議室

出席者 前田委員長、橋本副委員長、國分委員、星野委員、高橋委員、多田委員、黒木委員、並木委員、川原委員

三浦生涯学習課長、内田図書館長、渡邊公民館長、平田指導室長、平岡児童青少年課長、鈴木子育て支援課長

富沢コーディネーター、野口コーディネーター、伊藤コーディネーター、淵上コーディネーター、成田コーディネーター、森田コーディネーター、西田コーディネーター、駒野コーディネーター、高橋コーディネーター

欠席者 鈴木庶務課長

傍聴者 0人

1 開 会

(1) 小金井市放課後子どもプラン運営委員の委嘱状交付及び任命

【三浦生涯学習課長】皆さん、おはようございます。お忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。これより令和6年度第1回小金井市放課後子どもプラン運営委員会を開催させていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

議事に入ります前に、本日の資料の確認をさせていただきます。お手元のほう、御覧ください。1枚目が次第書でございます。2枚目、令和6年度放課後子どもプラン運営委員名簿でございます。3点目、令和5年度放課後子ども教室開催実績、ペラ1枚のものでございます。4点目、令和5年度第2回小金井市放課後子どもプラン運営委員会の会議録。こちら、すみません、ちょっとホチキス留めしてないようございますが、七、八枚のペーパー物でございます。それから、各学校から頂きました放課後子ども教室実行委員会のチラシというか名簿でございます。

私の手元には二小さんの分がないんですが、皆さんのほうは同じですか。じゃ、二小さんの分は後で御説明いただけるのかなと思いますので、そのほかの学校の分はついてございますので、御確認をお願いいたします。資料の過不足等ございましたら、事務局に御一報いただければと思いますが、よろしくお願いたします。よろしいですか。

それでは、議事のほうを進めてまいります。この後、運営委員長が決まるまでの間、司会進行を務めさせていただきます生涯学習課長の三浦と申します。よろしくお願いたします。

また、本日、鈴木庶務課長は公務のため欠席、児童青少年課長の平岡委員からは若

干遅れる旨の御連絡をいただいておりますので、本席より御報告を申し上げます。

なお、小中学校長会及び副校長会の委員さんにつきましては、選出前のため、次回以降の出席を予定しております。本日につきましては御了承をお願いしたいと存じます。

それでは、初めに、放課後子どもプラン事業につきまして御説明を申し上げます。この事業は、小金井市放課後子どもプラン運営委員会実施要綱に基づき運営されまして、総合的な放課後対策を推進するため、各小学校区を単位として、子供たちの安全で安心な活動拠点を設け、地域の皆様の御協力をいただきながら、学童保育所、児童館等との連携を図りつつ、スポーツ、文化活動等の様々な体験や、地域の皆様との交流活動に係る取組を実施するものでございます。

本運営委員会につきましては、要綱第2条の規定に基づきまして、放課後対策事業の事業計画の策定、安全管理、広報活動、ボランティア等の地域の協力者の皆様の人材確保、活動プログラムの企画、事業実施後の検証・評価、及び事業の運営等の検討をお願いしたいと思っております。

また、放課後子ども教室事業を各小学校区で円滑に進めるためには、正副委員長をはじめといたしまして、コーディネーターの皆様のお力添えも非常に重要でございます。コーディネーターの皆様には、学校、学童、保護者、地域を結ぶ扇の要役として御活躍を期待しておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

るる発言させていただきましたけれども、皆様の御理解、御協力の下で今まで以上に発展することを願ひまして、本日議事を進めてまいります。どうぞよろしく願いいたします。

それでは、次第に従いまして進行させていただきます。

本日は第1回目の会議となりますので、初めに、放課後子どもプラン運営委員の委嘱を行います。本来であれば、委嘱状の交付、皆様の机を回らせていただいて交付するところですが、時間の関係もございますので、略式にて、皆様のお机の上に委嘱状を配付させていただきます。御氏名等、御確認をいただければと存じます。

なお、任期につきましては、令和6年4月26日から令和7年3月31日までとなっております。

また、市職員の運営委員につきましては、資料2のとおりでございます。名簿の配付をもって代えさせていただきます。御理解方、よろしく願いいたします。

(2) 小金井市放課後子どもプラン運営委員紹介

【三浦生涯学習課長】続きまして、次第1(2)に進んでまいります。今年度の放課後子どもプラン運営委員の御紹介でございます。各委員の皆様、大変恐縮ではございます

が、お名前や推薦団体、抱負など、一言ずつ、名簿順に自己紹介をお願いできればと思いますが、よろしいでしょうか。

では國分さん、残念ですが名前が一番上ですので、よろしくお願いします。

【國分委員】今期からお世話になります。社会教育委員のほうから来ております。よろしくをお願いします。地域は前原小の近くです。よろしくお願いします。

【三浦生涯学習課長】短めですね。

じゃ、星野様、お願いできますか。

【星野委員】民生委員児童委員のほうから参りました星野千恵子と申します。よろしくお願いいたします。前任で浦野委員がこちらで長い間、御活躍されていまして、残念に思われている方も多くいらっしゃるかと思いますけれども、力はなかなか発揮することはできないかもしれませんが、1年間精いっぱい務めさせていただきたいと思っています。新参者ですが、よろしくお願いいたします。

【三浦生涯学習課長】ありがとうございます。

では、橋本さん。

【橋本委員】おはようございます。健全育成のほうから来ました橋本と申します。健全育成は任期2年の2年目ですので、この1年間お世話になります。よろしくお願いいたします。学区域は四小区になります。

【三浦生涯学習課長】よろしくお願いします。

じゃ、高橋さん、お願いします。

【高橋委員】皆さん、おはようございます。高橋と申します。今回初めて、実質的に初めてなんですけれども、緑町に住んでおりまして、緑中学校、第三小学校、緑小学校が学区域ということでやらせていただいております。どうかよろしくお願いいたします。健全育成6地区のほうから参りました。よろしくお願いします。

【三浦生涯学習課長】よろしくお願いします。

多田委員、お願いできますか。

【多田委員】小金井市子供会育成連合会から参りました多田典子と申します。こちらの放課後子どもプランは、自分の地域でも活動しておりますので、また何かありましたらお世話になると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

【三浦生涯学習課長】黒木委員、お願いできますでしょうか。

【黒木委員】黒木鞠子と申します。小金井市子供会連合会から参りました。下の子が小金井第一小学校、上の子が小金井第一中学校に通っております。どうぞよろしくお願いいたします。

【三浦生涯学習課長】ありがとうございます。

並木委員、お願いできますか。

【並木委員】おはようございます。私は国際ソロプチミスト東京ー小金井から参りました

並木と申します。ずっと出ろ出ろと言われておりまして、参りました。よろしくお願
いいたします。

【三浦生涯学習課長】じゃ、前田委員、お願いできますでしょうか。少し長めにお願いし
ます。

【前田委員】小金井市立小中学校PTA連合会から参りました前田薫平と申します。今年
で何年目か、ちょっと度忘れしてしまっただんですが、継続でお世話になっております。
子どもが今、中学3年生で緑中に通っておりまして、今年で卒業になりますので、P
連としてはこれが最後の年になるかと思っておりますので、ひとつどうぞよろしくお願
いいたします。

【三浦生涯学習課長】よろしくお願いします。

では、川原さん、お願いします。

【川原委員】おはようございます。私は新規で今年から参りました川原美紀と申します。
小金井市立小中学校PTA連合会からの出向で参りました。市では、部活動地域連携
の委員と公民館の運営審議会委員とこちらの委員をやっております。学校が、小学校
6年生の娘が南小で、中学校2年生の息子が二中で、今、南小のPTA本部の副会長
で4年目で、今年で引退しようと思っております。あと、南小で地域未来塾のコーデ
ィネーターを最近やっていて、放課後子どもはスタッフとしてお世話になっていま
す。いろいろよろしくお願いします。

【三浦生涯学習課長】ありがとうございます。

では、今度は市役所のほうでございませう。自己紹介をさせていただきます。

私は冒頭申し上げました三浦でございませう。よろしくお願いいたします。学区は一
小と二中でございませうけれども、とっくに卒業させていただきまして、生涯学習課長
2年目でございませう。1年間よろしくお願いいたします。

【内田図書館長】図書館長を務めております内田と申します。着任して今年で3年目にな
ります。よろしくお願いいたします。

【三浦生涯学習課長】よろしくお願いします。

【渡邊公民館長】公民館長の渡邊と申します。よろしくお願いいたします。この4月から
公民館長として配置されております。なかなか分からないところも多いような状況で
すけれども、皆さんといろいろとお話しできる等、有意義な時間にしたいと思ってお
りますので、よろしくお願いいたします。

【三浦生涯学習課長】庶務課長は所用で欠席してございませうので、指導室長、お願
いできますか。

【平田指導室長】教育委員会の指導室の指導室長に着任いたしました平田と申します。指
導室長としては1年目になるんですけれども、その前に4年間は他市の、つい先日ま
では町田のほうの学校長をやっていたんですけれども、4年間町田のほうにいまして、

その前はこの教育委員会で統括指導主事で9年間おりました。ですので、久しぶりに帰ってきたということになります。教育委員会としてはもう10年目になります。

皆様、本当に、日頃より子どもたちのために様々な工夫をしていただいて、本当にありがとうございます。感謝申し上げます。また今年1年間、どうぞよろしく願いいたします。

以上でございます。

【三浦生涯学習課長】ありがとうございます。

児童青少年課長の平岡は遅れて参りますので、飛ばさせていただいて、鈴木課長、お願いできますか。

【鈴木子育て支援課長】皆様、よろしく願いいたします。子育て支援課長の鈴木と申します。子育て支援課としては着任から3年目になりますが、よろしく願いいたします。私は南小学校の事務にいたことがございまして、すごく、放課後の活動が活発になっていて、きっと子どもたちも喜んで過ごされているんじゃないかと思っていますところでございます。

また、市の子どもに関する計画、「のびゆくこどもプラン」というのがございますが、今年度、策定の年度になっております。学童保育と共に、皆様の放課後子ども教室も計画のほうで一緒に取り組みさせていただくことになるかと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

【三浦生涯学習課長】ありがとうございました。

それでは、事務局のほうも併せて御紹介させていただきます。

事務局でございます生涯学習課生涯学習係、係長、倉澤でございます。

【事務局】皆さん、おはようございます。生涯学習係長の倉澤と申します。地域学校協働活動のほうを主に担当させていただいております。放課後子ども教室につきましても、どうぞよろしく願いいたします。

【三浦生涯学習課長】同じく生涯学習係、今泉でございます。

【事務局】おはようございます。本年度4月より地域福祉課からこちらの生涯学習課に異動になって参りました今泉と申します。今までやってきたこととは全く違うところなので、不慣れなため御不便等おかけしてしまうかもしれないんですけども、全力でやらせていただこうと思っていますので、ぜひともよろしく願いいたします。

【三浦生涯学習課長】ありがとうございました。

それでは次に、コーディネーターの皆様からも自己紹介を頂戴したいと思ってございます。コーディネーターの皆様には、学校、地域、家庭や関係機関との連絡調整などつなぎ役として、また、新たな活動の企画立案の支援、活動の調整役として、お力添えをお願いしたいと考えてございます。

本日出席いただいているらっしゃるコーディネーターの方から一言ずつ御挨拶をお願い

いしたいと思っているんですが、一小さんからでいいですか。すみません。御挨拶お願いします。

【富沢コーディネーター】一小のコーディネーターを務めております富沢智代と申します。かれこれ15年ぐらいたっていると思います、ちょっと正確な年数は分かりませんが、よろしく願いいたします。

【三浦生涯学習課長】お願いいたします。

じゃ、二小から。

【伊藤コーディネーター】第三小学校の……。

【三浦生涯学習課長】ごめんなさい。三小から。

【伊藤コーディネーター】三小のコーディネーター、伊藤と申します。よろしく願いいたします。勉強して頑張っていきます。

【渕上コーディネーター】四小のコーディネーターの渕上と申します。コーディネーターになってからすぐコロナとなって、昨年度から本格的に活動しているような感じですか。どうぞよろしく願いいたします。

【成田コーディネーター】東小のコーディネーターの成田と申します。今年度で5年目になります。どうぞよろしく願いいたします。

【森田コーディネーター】前原小の森田と申します。今年度で1年目になります。よろしく願いいたします。

【西田コーディネーター】本町小の西田と申します。放課後子ども教室は、お手伝いして今年で14年目で、コーディネーターは12年目になります。うちの子が今年成人式を1月に迎えるんですけれども、その子が小学1年生のときにボランティアでお手伝いを始めましたので、意義は達しました。よろしく願いいたします。

【三浦生涯学習課長】よろしく願いいたします。

【駒野コーディネーター】緑小、副コーディネーターをしております駒野といいます。娘が緑中の中3で、息子が緑小の小6で、ぎりぎり保護者です。コロナ禍でコミュニティ・スクールになって、地域コーディネーターをさせていただくタイミングで放課後も携わるようになりました。どうぞよろしく願いいたします。

【三浦生涯学習課長】よろしく願いいたします。

はい、南小から。

【高橋コーディネーター】南小のコーディネーターをしております高橋亜紀と申します。よろしく願いいたします。コーディネーター歴はちょっと数えてないのですが、長女が今22で、長女が1年か2年、そのぐらいのときから放課後子ども教室にさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

【三浦生涯学習課長】よろしく願いいたします。

皆様、ありがとうございました。

2 議 事

(1) 小金井市放課後子どもプラン運営委員会委員長及び副委員長の選出

【三浦生涯学習課長】それでは、本日議事のほうに移ってまいりたいと思います。議題は、委員長及び副委員長の選出でございます。委員長の互選につきましては、小金井市放課後子どもプラン運営委員会設置要綱第5条第2項におきまして、委員の中から互選するとなっておりますが、皆様、いかがされますでしょうか。

もし御意見がなければ、今回、事務局より、当運営委員会の前副会長でございました前田委員に委員長職をお願いしてございます。

皆様、いかがでしょうか。

(拍 手)

【三浦生涯学習課長】それでは、一応お諮りいたします。前田委員を委員長にすることに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

【三浦生涯学習課長】御異議なしと認めます。それでは、前田委員を委員長とすることに決定いたしました。

では委員長、席を替わっていただいて、議事をよろしくお願いいたします。

【前田委員長】ただいま選出いただきました前田でございます。どうぞよろしくお願いたします。

それでは次の議事に入ります。副委員長の選出です。事務局、お願いできますでしょうか。

【三浦生涯学習課長】こちら互選することになってございますが、皆様、何か選出方法について御意見ありますでしょうか。

よろしいですか。それでは、こちらにつきましても、当運営委員会委員を長くお願いしてございます橋本委員に副会長職をお願いしてございます。皆様、いかがでしょうか。

(拍 手)

【前田委員長】それではお諮りします。橋本委員を副委員長にすることに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

【前田委員長】御異議なしと認め、橋本委員を副委員長とすることに決定いたしました。

橋本委員、席の移動をお願いいたします。

それでは、以後の司会につきましては副委員長をお願いいたします。

【橋本副委員長】はじめまして。この1年間、よろしくお願いたします。顔見知りの方もいますし、また新しい方もおられますけれども、この1年間、一緒にやっていきたいと

思いますので、皆さん、御協力よろしくお願ひしたいと思ひます。

(2) 令和5年度及び令和6年度放課後子ども教室について

【橋本副委員長】 それでは、紹介で時間を取りましたけれども、これから進めていきたいと思ひます。事務局のほうからまず説明していただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

【事務局】 事務局より説明いたします。令和5年度の放課後子ども教室事業の状況報告に移ります。資料2の実績の紙のほうを御覧いただけたらと思ひます。

令和5年度の延べ参加人数は、週5開催校の拡大などもあり、12万4,022人となりました。令和4年度が11万517人でしたので、1万3,505人の増加となりましたので、約13%の増加率となっております。改めて、皆様の御協力に感謝申し上げます。詳細については資料を御参照いただけたらと思ひます。よろしくお願ひします。

以上です。

【橋本副委員長】 ありがとうございます。

それでは、早速なんですけれども、コーディネーターの方から、資料もありますけれども、それぞれのこの1年間の取組等ありましたら、まずお聞きしたいと思ひますが、順番にしゃべっていきましようか。お願ひします。

【富沢コーディネーター】 第一小学校です。第一小学校では週5開催を実施しています。月・火・木曜日は校庭で昼遊び、水・金曜日は体育館で昼遊びをしています。そのほか、地域の方や子供たちの企画の教室があつたりします。

一小の特徴としましては、2年前からジュニアスタッフ会議というのを行ってまして、子供による子供のための放課後子ども教室をつくって、子供たちが教室で何をやりたいか企画を立てるというのもやっています。つい先日も、新しいジュニアスタッフを募集するために、6年生のジュニアスタッフが1日ジュニアスタッフ体験というものを体育館で行っておりました。大変頑張っております。

以上です。

【橋本副委員長】 じゃ、二小、お願ひします。二小は御欠席のようですね。資料としてはないんですね？

では、飛ばして、三小、お願ひします。

【伊藤コーディネーター】 三小です。お手元の資料のとおり、今年4月から三小も週5日の開催ができるようになりました。皆様、いろいろ御心配ですとかアドバイスをいただきまして、ありがとうございます。

やってみて感じていることなのですが、好循環が生まれておまして、スタッフの方がほぼ週3日、4日入るということで、非常に子供との関係が、信頼関係も築ける

ようになり、また、けがの対応などもスタッフができるようになったという利点があると思います。それから、子供たちも私たちに信頼してくれるということで、それがよい好循環が生まれていると思います。

そして、市の事業をやっているという自覚もスタッフの中に、最初はよく分からないで、ボランティアかなと思ってやっていた方が、実はこういう意味でこういう事業をしているんだということを実際に分かっていただけたという利点もあったと思います。

こちらのチラシの中央の上のほうに、インスタグラムのコードを載せたんですけども、こちらのフォロワーも増えてというか、ちょっとなんですけれどもいらっしやいまして、子どもたちの様子を直接は見に来れない勤めているお母さんが、昼休みに見てくれるみたいなのがちょっとできているかなと思います。また、4年になると学童を卒業して、行く場所がないという児童がやはり数名来てくださっているので、このように定例的に開催できるようになったということは非常にメリットが大きいのではないかと思います。

課題は教室数で、三小は、御存じのとおり、児童数が多いことと、教室が足りていない中で、やろうと思っていたところがダンスクラブの練習になったとか、そういうことがあってみんなでぞろぞろと移動したりとか、そういうことが生じていますので、今後、運営委員の皆様にも御理解いただいて、そういったことでやっていっているということを御報告したいなと思っております。

先日、平田室長も御一緒に三小に来ていただいて、コミュニティ・スクールの録画事例を見たんですけども、こういうことをやっていくというのはプロセスが大事ということが非常に印象に残りまして、すごく勉強になりました。なので、結果はこういうふうになったんですけども、そのプロセスでいろんなことを経験したことが非常に、私たちの生涯学習にもなっているかなという気がしています。

以上です。

【橋本副委員長】ありがとうございます。

じゃ、四小、お願いします。

【渚上コーディネーター】四小の渚上です。四小は、このチラシに載っているとおり、放課後子ども教室を「楽しい四」と呼んでいて、子どもたちの間では、「たのよん、たのよん」というふうに言われております。昨年度の2学期から週5になりました。それまで月曜日がなかったんですけども、月曜日を開催することとなり、週5日というふうになりました。

また、昨年度からの特徴としては、4年生以上のボランティアというのを募集しまして、大体水曜日が室内遊びなんですけれども、室内遊びのときにいろんなお手伝いをしてくれる子といって募集すると、結構来てくれて、8回たまると御褒美がもらえ

るという仕組みになっているので、もうためている子もいるような感じです。こきんちゃんカードを活用しています。

あと、学童さんが学校と離れた場所にあるんですけれども、毎回先生が引率して連れてきてくださるので、学童の子供たちと放課後子どもの子供たちが一緒に遊べるというのを大変ありがたく思っております。学童の先生ですとかも大変かと思いきけれども、うまくいっています。

課題としては、去年、校庭遊びが中止が多かったのが、暑過ぎて熱中症の心配があるということで、今年もちょっと昨日からやばいなという感じになっているんですけれども、気をつけて運営していきたいと思っております。

以上です。

【橋本副委員長】ありがとうございました。

じゃ、次、東小、お願いします。

【成田コーディネーター】東小は昨年度から週5になりました。東小も、三小さんと同じで、とても児童数が多くて、ちょっとマンモス校になってきています。教室もいっぱいですし、校庭も使っているので、現状は6時間目以降の校庭開放という形になっています。

子供が多くなったということもありまして、昨年7月から増設工事が始まりまして、先月の3月に無事完了いたしました。校庭はちょっと狭くはなっているんですが、夏休みに遊具のほうもまた戻ってくるということで、子供たちとそれを楽しみに待っています。

去年は、増設工事のために仮囲いが工事現場に置かれていて、遊具も全部撤去されている状態で、学校のほうも、ボールの使用に関して、ボールを蹴ってはいけないとかいろんな制限がありましたので、それに合わせて放課後も学童も行っていましたので、子供のほうから、体育館も一緒に、ボールで遊べるように解放してほしいという声がありましたので、去年は10月から校庭開放と体育館開放を同時に行っております。

東小は一体型というか、学童さんが学校の敷地内にあるということもありますし、あと、児童館が隣にあるという、とても恵まれた環境にありますので、その3つが協働しながら、協力しながら今年もやっていこうと思っております。

以上です。

【橋本副委員長】ありがとうございました。

じゃ、前原小、お願いします。

【森田コーディネーター】前原小です。よろしくお願ひいたします。

チラシを御覧いただくと、そのとおりでございますけれども、「今後、月曜から金曜の放課後は」ということで、週5日、下校時刻から5時まで開催しています。今、1年

生は給食がちょうど始まったばかりなんですけれども、1年生も1時10分から参加できるような仕組みになっています。また、ランドセル突貫で参加できるので、一旦帰宅する心配もなく、そのまま夕方まで遊べるというふうになっています。

基本的には校庭遊びがメインです。校庭遊びがメインで、雨が降った場合のみ、また、暑い日のみということで、校内遊びに切り替えたりしています。校庭遊びをするかたわらで、図工室の前にちょっとパテオミみたいな、おしゃれな、ちょっとテーブルと椅子があって屋根がちょっとあって、空きスペースがあるんですけれども、そこをお借りして工作をやったりもしています。

基本的に、前原小学校では、校庭遊びも工作も全部自由ということにしています。子供たちが主体的に育てるように、自主的に動けるように、全て自由、子供たちがここに来て選択して過ごすというふうな方針を取っています。

チラシの裏面があるんですけれども、2枚目は裏面として印刷をやっていただいているんですけれども、登録用紙がついているのが裏面なんですけど、表面のほうはカラーで、お子さん向けということで、裏面は保護者向けの内容になっているんですけれども、こちらのほうを御覧いただくと、4月9日入学式の翌日から、始業式の翌日から開催しています。4月に入ってからの様子を見ていますと、1年生もわりかし集中していますし、また、高学年の参加が非常に多く、また、学童さんも今年度非常に多く、4月から見れば、毎日200人以上の子が参加しています。一番多い日で206人、前原小の学区利用者が600人程度なので、3分の1以上の子たちが放課後まで校庭で過ごすというような計算になります。

スタッフのほうも、ほかの、学校の方じゃない方も週に4日、5日と長く多めに入ってきてくださる方が多いわけで、また、20代のスタッフもおりますので、子供たちから信頼というか、親しみというか、スタッフに持っていますので、その点に関して保護者の方からの、遊びに行かせて安心、遊びに行かせたい、子供たちも遊びたいというふうを選んでもらえている、そういう場所になれているのではないかと思います。

今年度の課題としては、やはりほかの学校と同じなんですけれども、空き教室がないということがあります。雨天中止ではなく、雨天室内遊び振替という形式を取っていますので、空き教室がなければ自動的に中止となってしまいます。その点が今、大きな課題となっていますので、やはりこの運営委員会で、ほかの学校と合わせて、拠点を持たない放課後子ども教室が学校施設をどのように利用していけるのか、中止にせずどのように安定した運営をしていけるのかということ、アイデアをいただきながら、皆さんのお知恵を拝借しながら、また1年進めていけるとありがたいなと思っています。よろしく願いいたします。

【橋本副委員長】ありがとうございました。

次に、本町小学校、お願いします。

【西田コーディネーター】本町小学校の西田です。よろしくをお願いします。

チラシは、前原小さんの次の開催カレンダーと、その次の「本町小放課後子ども教室の御案内」の2枚ありますので、御覧ください。

本町小学校の放課後子ども教室は、月曜日から金曜日の週5日、基本、5時間目が終了した時間から室内教室を、低学年算数教室をお借りして開催しています。その後、6時間目が終了しましたら、校庭遊びを行っています。雨が降ったり、暑い日は、体育館をお借りしまして、体育館はエアコンが完備されていますので、夏は涼しく冬は暖かく遊んでいます。

また、低学年が4時間授業のときは、4月は1年生に合わせてはいないんですけれども、5月からは1年生も含めて、4時間授業のときは早く、1時から開催しています。

室内教室では、宿題や、空き箱などを廃材を利用した自由工作、牛乳パックや寄附を頂いた毛糸や布などを使った手芸などを、自由に、子供たちが好きなように遊んでいます。校庭遊びでは、ゴムボールを使用して野球やサッカー、一輪車、鬼ごっこなど、これも子供たちの好きな遊びを自由にさせています。

昨年の実績は、先ほどデータで御紹介がありましたが、開催が4月10日から3月21日まで1年間184日の186回開催しまして、8,377人の参加がありました。1日平均にすると45人ぐらいなんですけど、本町小は学童施設が少し離れていまして、学童の子供が参加することはほとんどありません。学童の子が参加するのは、学童を今日はお休みして遊びに来るという形で、1日に1人か2人いるかどうかという感じなんです。

サポーターは今、現在24名で運営してまして、この春にも3人の方が加入していただきました。この前の春休み、3月には、近隣の学芸大学の学生さんや本町小を卒業した中学生や大学生がたくさん遊びに来てくれまして、ジュニアボランティアですとか大学生サポーターとして子供たちと校庭遊びを一緒にしてくれまして、子供たちも非常に活気にあふれた遊びができました。

令和6年度も同様の開催を企画していますが、近隣の学芸大学と、学生さんと少しパイプができましたので、定期的にスポーツ教室ですとか子供たちと遊んでいただくような機会を設けていきたいと思っております。また、以前やっていたジュニアボランティア制度も、ゴールデンウィーク明けからまたチラシを配布して、募集をして、高学年の参加も募ったり、一小さんでやっていらっしゃるような子供たちの意見箱などを設けて、子供がやりたい遊びを実際に取り入れていくということも試みていきたいと思っております。

以上です。

【橋本副委員長】ありがとうございます。

じゃ、緑小、お願いします。

【駒野コーディネーター】緑小、駒野です。緑小は月曜日から金曜日の週5日、校庭と室内の両方で開催をしています。雨の日は体育館を使わせていただけるので、基本的に中止はありません。月に一、二回、水曜日に体育館で放課後スポーツなどの企画もしています。令和2年度からはコミュニティ・スクールになったことで地域未来塾の開催もあり、子供たちの居場所の選択肢は以前よりも大分増えていると思います。

お手元の「緑の放課後」としてプリントを出しているんですけども、それは、放課後子ども教室と地域未来塾など全て、あえて一緒に掲載をしてカレンダーを作っています。それを毎月発行しています。学校のペーパーレス化の流れはあるんですが、子供たちに見てもらいたいという思いで、あえてプリントで毎月発行しています。

本年度の放課後は4月10日よりスタートしました。1年生は、ゴールデンウィークが明けるまでは4時半からの再登校にしています。初日の放課後には、全校生徒が4時間授業で、しかも全学年保護者会ということで、300名を超える参加がありました。昨日までが、12日間の開催で、参加が2,104名、うち学童さんが751名、毎日、平均150名以上の参加がある状況です。

皆さんおっしゃっていましたが、今年度、緑小もさらに学級数が増えたことで、室内開催の教室確保に苦戦をしております。とはいえ、引き続き安心・安全な居場所づくりに努めてまいります。

以上です。

【橋本副委員長】ありがとうございます。

じゃ、最後に南小、お願いします。

【高橋コーディネーター】南小、高橋です。

今年度も週5日開催をしております。4月は4月15日から開催しています。月曜日・水曜日は室内遊びか学習アドバイザーによるわくわく教室、火曜日・木曜日・金曜日は校庭遊びという形で行っています。火・木・金の校庭遊びの日は、雨が降っても、暑くて外に出られなくても、室内で開催できるようにとい形で、一応部屋の確保を取っているような状況です。

1年生は、この前、低学年保護者会議の見守りというのを、保護者会議で行いました。1年生の参加は来月5月21日より、室内遊び、校庭遊びのみになりますが、そちらで参加できるように今予定をしています。

ほかの学校さんも言われていますが、南小も前年度末に今年度の学校施設費用の1年分の部屋を確保してスタートを切る予定でしたけれども、状況が変わりまして、予定していた教室が使用できなくなってしまう、また、前年度使用していた会議室は学童が使用することになってしまったので、日々、空き教室の確認を取りながら室内遊

びを開催している状況です。子供たちも、今日はどこの教室でやっているのかを毎回掲示板で確認してから参加しているというような状況です。1年生が参加する時期までには、毎回同じ教室で開催することができるように、学校側と今、相談している最中です。

お手元の資料にある、4月の南小放課後子ども教室のお知らせの下のほうに、ちょっと箱をつくって「4月から室内の使用場所が4階会議室から」というふうに書いているこちらのほうは、印刷をした後に、低学年少人数が3階にあったのが、4階の会議室に切り替わってしまって、それをちょっと、印刷した後に分かってしまったので、もうこのままこれを全児童に配布して、そのときに、南小ホームページには、こちら、替わってしまったので毎回様々な教室を利用しますというふうに、ここの文言を変更し、あと、保護者の方にはスクールメールで、変更になった分のお知らせを出して対応しました。

以上です。

【橋本副委員長】 ありがとうございます。

それぞれ、資料を基に話していただきましたけれども、何か質問等あるでしょうか。

それぞれの教室によって違うと思うんですが、1つ質問なんですけれども、いわゆるコーディネーターの会議というのか、どれぐらい持たれているのか。全体的な会議などあるんでしょうか。といいますのは、今、幾つかの課題をメモしたんですけれども、熱中症対策とか、空き教室の問題とか、スタッフの問題とか、そういう個別的にこの係というのか、しているのか、それとも団体というのか、コーディネーターで何か話をして、全体的に課題を出しているのかということ、ちょっとお伺いしたいんですが。

【森田コーディネーター】 私からお答えをさせていただいても大丈夫ですか。すみません、実行委員長としてお答えさせていただきます。

実行委員会というのがあるんですけれども、そちらのほうは毎月1回行っている形になります。8月のみ、夏休み中ですので休会となります。年間11回、開催しています。こちらの出席というのは、各校の正副コーディネーターと、運営委員長と副委員長の出席に関しては任意ということになっています。オブザーバーとして御参加いただいている形になります。このほかには、基本的には事務局と主に開催ということになっています。

以上です。

【橋本副委員長】 先ほど出されたそれぞれの課題がありましたけれども、それはどういうふうにして解決されているんでしょうか。

【森田コーディネーター】 一応、実行委員会が始まる前に、報告と議案というのをそれぞれの学区が挙げているんですね。その前月にあったことの報告として、そこから見え

てきた課題があった場合は、議案ということで上げて、それを基にして実行委員会が協議、検討していくという形になっています。必ずしも、実行委員会で協議した、検討したからといって、例えば教室不足などの問題については解決することはなかなかないというのは正直なところで、ですので、こちらの運営委員会のほうに実行委員会として昨年度も上げさせていただいていると思います。

【橋本副委員長】ありがとうございます。

今日は関係機関の方々それぞれ、行政のほうが出席されておりますけれども、何かあるでしょうか。

平岡課長さん、学童保育の様子をちょっと、もしよろしければ報告いただければ。

【平岡児童青少年課長】改めまして、4月1日より児童青少年課長を拝命いたしました平岡と申します。よろしく願い申し上げます。

日頃より、委員の皆様、またコーディネーターの皆様におかれましては、学童保育所の運営に関しまして多大なる御協力をいただき、誠にありがとうございます。

学童保育所の現状と、学童保育所の大規模化の対応につきまして、簡単に御説明させていただきたいと存じます。着座にて失礼いたします。

まず、学童保育所の現状についてでございます。令和6年4月1日現在、学童保育所の入所児童数は、昨年同日より59名増の1,584人となっております。定員より大幅に上回る児童の方が入所されている状況ということになります。入所児童数は年々増加傾向にございますことから、学童のほうも子どもたちの放課後の居場所の1つとして、育成室の確保が喫緊の課題となっております。

市としましては、公共施設の総量の抑制の観点もございまして、学童保育所の単独での施設建設は難しいという状況がございます。その中で、冒頭申し上げましたとおり、委員の皆様、コーディネーターの皆様、そして学校の先生方の多大なる御協力をいただきまして、現在、市内の小学校9校中5校で、学校施設の一部を学童保育に利用させていただいている状況となっております。しかしながら、各学校も児童数の増加や35人学級の実施等がございますので、限られた教室をお借りすることもなかなか厳しいという現状になってございます。

そのような状況の中で、コーディネーターの皆様におかれましては、校庭や体育館の利用につきまして様々御配慮いただいております、この場をお借りしまして改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。

今後とも、放課後の子どもの居場所の確保に向けましては連携を取らせていただきたく存じますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。

次に、大規模化の政策についてでございます。令和6年4月1日から、民設民営学童保育所が市内で1か所開所となりました。場所は東小金井駅前の北口のビルにございまして、定員が40名程度となっております。そちらの主な学区の対象としまし

ては、三小のお子様や東小のお子様が通われていて、中にはあかね学童地域の方もこちらの学童のほうに通っております。国や市の条例に基づいて運営される学童保育所とは異なりまして、これまで公設では1年生から3年生、障害のある児童は4年生までとなっておりましたが、民設民営学童のほうに関しましては、4年生まで児童の入所ができるような施設となっております。

令和6年度におきましても、民設民営学童の1所分が予算化されてございまして、公募を予定しているところでございます。

雑駁ではございますが、私からは説明は以上となっております。

【橋本副委員長】どうもありがとうございました。

以上で議題は終わるんですけども、この立派な資料がありますので、また皆さん、目を通していただければと思います。

質問がなければこれで終わりたいと思いますが、よろしいでしょうか。

3 その他

【橋本副委員長】では、最後に委員長から挨拶をお願いします。

【前田委員長】今年で放課後子ども教室自体が始まって何年たったか、ちょっと分かりませんけれども、日々いろいろな問題だとかそういったものに御対応いただいて、子供たちの居場所のために御尽力いただきまして、コーディネーターの皆様、ありがとうございます。本年度もひとつよろしく願いいたします。

事務局、何かございますか。

【事務局】資料として、令和5年度第2回放課後子どもプラン運営委員会会議録を配付させていただきました。事前に皆様に修正等を確認していただいて修正を行ったものなんですけれども、本日、修正を反映した会議録は初めて配付いたしますので、さらに修正等がございましたら、5月2日の木曜日の17時、午後5時までに事務局まで御連絡いただければと思います。何もなければ、御指摘がなかったものとみなし、市のホームページにて公開をさせていただこうと思います。

また、次回開催につきましては、正副委員長と共に協議の上、決まり次第、御連絡いたしますので、よろしく願いいたします。

以上です。

【橋本副委員長】ありがとうございました。

4 閉 会

【橋本副委員長】それでは、本日の会議を終わります。どうもありがとうございました。

— 了 —